

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第4期第2回相模原市中央区区民会議			
事務局 (担当課)	中央区役所区政策課 電話042-769-9802(直通)			
開催日時	平成28年12月6日(火) 19時00分~21時05分			
開催場所	市立総合学習センター4階 大研修室			
出席者	委員	22人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	18人(中央区長、中央区役所副区長、他16人)		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<p style="text-align: center;">開 会</p> <p style="text-align: center;">議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中央区区ビジョンの取組状況について 2 中央区役所主要事業の取組状況について 3 中央区の現状と課題について 4 今後の中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト実行委員会の取り組みについて 5 その他 <p style="text-align: center;">閉 会</p>			

主な内容は次のとおり。

(会長の発言 委員の発言 事務局の発言)

開 会

区民会議規則第3条第3項の規定により、井狩会長により議事を進行した。

会議の成立要件を満たしている旨、報告した。

傍聴希望者は無いが、会議開催中に傍聴希望者があった場合は、傍聴を許可することとした。

～井狩会長あいさつ～

(要旨)

- ・本日の議題は、中央区区ビジョン及び中央区の主要事業の取組状況、中央区現状と課題、中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト実行委員会の取り組みについてである。
- ・議題が多岐にわたるが、意見交換を深めることで、実りの多い会議としていきたい。

議 題

1 中央区区ビジョンの取組状況について

事務局より、資料1「中央区区ビジョン進行管理表」に沿って説明を行った。

区ビジョンの項目「区民がかかわる教育環境づくり」に関連して発言する。私の地域の小学校では、現在約850名のうち約60名の児童が通常級の中で授業についていけない状況である。支援教育支援員が学校に1名配置され、特に重点的に指導する児童を8名選抜し、補習授業等を実施するとともに、選抜されなかった児童も、授業の合間や昼休みに先生が指導していると聞いているが、選抜されていない50名のことを考えると、支援教育支援員を拡充してはどうか。

小学校3、4年までに学習に遅れが生じた子どもは、中学の授業についていけず不登校やひきこもり、非行などの原因となってしまうので、子どもの健全育成という観点からも必要な制度である。

公民館施設利用の有料化について発言する。利用登録団体は、公民館まつり等の事業に協力をしてもらっているが、有料化により利用者が減少することで、担い手不足から事業運営に支障が生じてしまうのではないかと懸念している。

また、高齢者学級や料理教室等、高齢者が参加しやすい公民館事業を実施することで高齢者

の外出を促し、地域から孤立しないようにする効果があるため、事業が縮小しないよう工夫する必要がある。

区ビジョンの項目「災害に強いまちづくり」にある「河川改修事業」について発言する。市街化が進む鳩川、八瀬川、姥川の河川改修を進めることは、とても重要である。

一方、整備だけでなく、河川の浚渫や、大雨の際に流れをせき止めてしまう樹木の剪定や伐採などの維持管理にも力を入れて欲しい。

区ビジョンの項目「子ども・高齢者・障害者に優しいまちづくり」にある「高齢者地域活動支援事業」について発言する。地域貢献講座に約100名が参加しているとのことだが、講座に参加しただけで、実際に地域活動に参加する方が少ないのではないかと感じるので、受講者が地域活動に参加するまでの仕組みづくりが必要である。

市の予算は、事業の選択と集中を重点に編成している点を御理解いただきたい。また、各事業に対する意見については、今後の事業展開に反映できるよう関係部署へ伝えさせていただく。

2 中央区役所主要事業の取組状況について

事務局より、資料2「中央区役所主要事業の取組状況」に沿って説明を行った。

「商店街の振興」「地域イベントの支援」について発言する。中央区においては、昔からある地域の行事と商店街等の連携が増えてきたと思う。にぎわいづくりは、居住者や商業者と、来街者の双方で創出される。最近では、特に外国人観光客が区内のシティーホテル等に相当数宿泊しているので、区内の商店街等に集客できると、さらなるにぎわいづくりにつながるので、団体間の横の連携や情報共有について協力をお願いしたい。

外国人来訪者の状況等についてお話をいただきたい。

西門商店街では、商店街の路地を入ると、中国やフィリピンの小売店や韓国の総菜店などがあり、外国人が買い物に来ている。

また、ひとつの事例として、JR相模原駅やJR上溝駅周辺のビジネスホテルに中国人をはじめさまざまな国籍の観光客が大型バスを利用して宿泊しており、近隣のコンビニエンスストアを利用している。一方で、中国語や韓国語等の案内表示が不十分であるため、パンフレットや地図などを充実する必要があるのではないかと考えている。

「区の魅力発信事業」について発言する。フェイスブックやインスタグラムは情報発信媒体であり、発信する中身となる事業についても工夫すべきである。

中央区の魅力はさまざま存在するが、中央区の将来像である「人とまち宇宙(そら)をつなぐ中央区」にもあるとおり、JAXAは、相模原市や中央区の魅力であり、誇りである。また、

中央区は大学が複数立地していることから、JAXAや宇宙をコンセプトに学術文化と結びつけた宇宙フェスタや宇宙カンファレンスといった「宇宙」というテーマを前面に出すことや、子どもたちが理工系に関心と興味を持って、将来を担う人材が輩出される側面についても真剣に取り組む必要がある。そのような動きが、産学協同による企業誘致といった将来展望につながっていくと考える。

フェイスブックやインスタグラム等は、インターネット環境であることから、中央区の魅力在海外にも発信する手段のひとつとして活用している。紙媒体については、現在、中央区が発行するパンフレットやマップに外国語表記入りのものを作成していないが、そのような視点も意識して作成をする必要があると考えている。また、市全体においても、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組みを進めているので、歩調をあわせて進めていきたい。

また、JAXAは、日本国内にとどまらず、世界に発信できる中央区の魅力である。中央地区においては、JAXAや博物館との連携による宇宙教室事業を平成27年度から実施され、大野北地区においては、JAXA移転問題の際には、存続の署名活動を熱心実施された。

区役所としてもJAXAとの連携をより一層強化した事業展開が必要であると認識しており、費用を抑えた中でも特色のある事業が可能であると考えている。

3 中央区の現状と課題について

事務局より、資料3「中央区の現状と課題」に沿って説明を行った。

地域における犯罪抑止力に関連して、防犯カメラ設置費補助制度について発言する。補助上限額が増えたのはよいことだが、補助金の支払が設置後となるため、自治会が多額の費用を建て替える必要があり、制度上不便である。防犯活動は、区民と行政が協働して実施すべきものであるから、行政としても利用しやすい補助制度となるよう協力してもらいたい。

防犯カメラの効果について話をする。居住地近くの公園において、防犯カメラが設置される以前は、盗難された自転車の乗り捨てやタイヤの不法投棄など地域課題のひとつであったが、防犯カメラの運用を開始して間もないが、放置自転車は今のところ1台もなく犯罪抑止効果が高いことが認識できた。

設置促進策の例として、補助決定後半額でも設置前に補助金の支払があれば、予算規模の小さな自治会でも設置を検討できるので、補助制度の改正に向けて検討をしてほしい。

高齢者の自動車運転事故防止に関連して発言する。人口に占める高齢者の割合が増えていく中で、自動車運転免許の返納をいかにして進めていくかということが重要である。自動車を保

有する維持費や運転リスク等のデメリットをもっと周知するためには、高齢者支援センターや民生委員といった、直接高齢者と多くの関わりを持つ方の意見を聞きながら、どのようにすれば効果的なのか検討する組織や体制が必要である。

昨今、高齢者が運転する自動車事故が社会的な問題になっており、平成29年3月12日より道路交通法が改正され、高齢者の自動車運転免許の更新条件が厳しくなる。また、相模原警察署において、区内で特に交通事故発生件数が多い上溝地区と田名地区を対象に、自動車運転免許証の返納についてアンケート調査を行っている。今後も、高齢者の自動車運転事故の防止に取り組んでいきたい。

続いて、子ども、子育てについて発言をお願いしたい。

保育園の取り組みとして、子育てをしている母親が家に閉じこもりがちにならないよう、地域と連携して公民館や自治会館を会場に子育てサロン事業を展開している。

高齢人口の割合が高くなる原因のひとつとして出生数の減少があることから、子育て支援策も高齢社会の歯止めをかける有効な対策であることを発信していきたい。

議題1においても触れられていたが、子どもの学習支援についてPTAから発言をお願いしたい。

PTA連絡協議会では、市内を11の地区に分けたブロック協議会が運営されている。

各ブロックにおいて毎年1回、子育て中の保護者を対象に、教育におけるさまざまな場面の支援を目的に、家庭教育事業を実施している。課題としては、この事業が保護者、特に閉じこもりがちの方に対して伝わっていないことが挙げられ、告知方法や取り組み内容の伝え方を模索しているところである。

高齢者については、日常生活がおろそかになり、人間関係を拒絶し、生きることを放棄してしまう、いわゆる「セルフネグレクト」が報道等で取り上げられ、社会問題のひとつとなっているが、専門家の立場から助言があれば発言をお願いしたい。

精神科が専門でないことを了解していただいたうえで発言する。この問題は、本人や家族などの支援者がどうしてよいか分からないことが大きな課題である。外部から手を差し伸べられることを喜ばれる方がいれば拒否する方もいる中で、支援の方法を画一的に論じられる状況ではない。

現在、高齢者だけではなく、働き盛りなどさまざまな世代においてメンタルヘルスの重要性がいわれており、支援の方法についても模索、検討されてきている。もう少し時間が経てば、「セルフネグレクト」に関して、支援における一定の方向性や方法論が出てくるのではないかと。

先進国のなかでも我が国は自死率が高く、地域において対応していかなければいけない大き

な問題のひとつとして取り上げさせてもらった。

4 今後の中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト実行委員会の取り組みについて

事務局より、資料4「今後の中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト実行委員会の取り組みについて」に沿って説明を行った。

中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクトにおいては、商業・イベントプロジェクト班に所属している。

商業・イベントプロジェクトにおいては、イベントの規模に関わらず、歴史的なもの、商業的なもの、教育に関連するものなど、幅広くイベント大賞を通じて紹介してきた。

少し話が逸れるが、小学生や中学生が小売店や作業所などで地域の大人と交流することは教育上もとても有効である。受け入れた側も心に残っており、子どもたちと地域のつながりを育むきっかけとして価値が高い。

取り組みの方向性として、高齢者が参加しやすい、わかりやすい課題、例えば社会的に関心が高い認知症対策を取り上げて欲しい。

これまでの区民会議の報告書や本日の資料において、若い世代の地域参加や、世代間交流といった言葉が数多く出てきている。私が関係している淵野辺駅周辺において、日ごろから学生たちは地域の商店街のイベントのお手伝いし、自身の大学の活動に協力してほしい場面においては、地域の方々が協力してくれる協調関係がうまくできあがっている。

学生にとって「地域参加」という言葉は、ハードルが高く感じる。行政や地域活動の担い手からは、個別の企画に対してお手伝いの声掛けを学生にしてもらえると、若い世代は気楽に参加できるのではないかと。

また、担い手側は、テスト期間などの学生特有のスケジュールや、お互いが強制される関係にはないことを理解し合えば、学生が地域参加してくうえでの問題は、生じないと考える。

中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクトにおいては、文化・教育・スポーツプロジェクト班に所属している。

今後取り組んでいきたい課題として、学校の授業についていけない子どもたちのフォローである。これまでも、高校生や大学生がボランティアでそのような子どもたちの勉強を見守って、夏休み前に克服しようという事業を行っている。学力が低下している子どもの傾向をみると、貧困や母子家庭と因果関係があると考えている。

中央区には4つの大学という地域資源があり、一方で子どもたちは教育を受ける権利があるのだから、そのような事業を通じて、中央区が住みやすい、子どもを育てやすい環境にしてい

くことで、将来的には転出する人たちも少なくなるのではないか。

また、男女共同参画の視点では、ドメスティックバイオレンスに悩まされ、警察へ相談に来ている家庭が相模原警察署管内で毎年増加しており、シェルターの存在は重要である。

地域にはさまざまな課題があろうかと思うが、将来を担う子どもに手厚い地域となっていくことで、住みやすいまちになっていくのではないか。

5 その他

(1) 委員からの意見等

区民会議は議題が多岐に渡るので、分科会形式により議論を深めてはどうか。

分科会については、議題に合わせて開催を検討する。

ひばり放送のチャイムについての提案である。2月から10月は午後5時、11月から1月は午後4時に放送されており、それに合わせて子どもたちは帰宅している。

外遊びは人間関係を構築する重要な時間であるので、少しでも時間が取れるよう、午後4時30分に放送される期間を設定できないか。

事務局より関係部署へ情報提供されたい。

(2) 事務局より報告事項等

- ・ 次回の区民会議は、2月から3月頃を予定している旨報告
- ・ 中央区ニュースレターの発行について報告

閉 会

～ 田所副会長あいさつ～

(要旨)

- ・ 本日は、中央区区ビジョンの進行管理を行い、中央区役所の主要事業の取組状況を踏まえ、中央区の現状と課題について討議するプロセスであったため、議論が多岐にわたった。
- ・ 今後の中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト実行委員会については、本日の議論を踏まえて中央区の現状と課題を整理し、中央区区ビジョンの実現に向けた具体的な取り組みについて、検討を進める予定である。

以 上

第4期第2回相模原市中央区区民会議 委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	井狩 芳子	和泉短期大学	会長	出席
2	石井 今朝太	小山地区まちづくり会議		欠席
3	石井 トシ子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら		出席
4	井上 政市	相模原交通安全協会		出席
5	上杉 愛海	公募委員		出席
6	牛尾 良一	中央地区まちづくり会議		出席
7	宇田川 隼	公益社団法人相模原青年会議所		欠席
8	浦上 裕史	一般社団法人相模原市観光協会		出席
9	小倉 偉男	相模原市公民館連絡協議会		出席
10	河本 博	大野北地区まちづくり会議		欠席
11	木内 哲也	一般社団法人相模原市医師会		出席
12	小林 充明	上溝地区まちづくり会議		出席
13	齋藤 春美	公募委員		出席
14	坂本 洋三	相模原市地区社会福祉協議会中央区連絡会		出席
15	島根 裕志	相模原市立小中学校PTA連絡協議会		出席
16	清水 洋子	相模原市私立保育園園長会		出席
17	未永 暁子	横山地区まちづくり会議		出席
18	関戸 丈夫	田名地区まちづくり会議		出席
19	竹田 幹夫	星が丘地区まちづくり会議		出席
20	田代 明寛	清新地区まちづくり会議		出席
21	田所 昌訓	相模原市自治会連合会	副会長	出席
22	中西 豊和	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
23	平林 清	光が丘地区まちづくり会議		出席
24	本郷 永子	公募委員		出席
25	横山 房男	相模原商工会議所		出席